

埋蔵文化財発掘調査概報集 X X VIII

— 令和 2 年(2020 年)度調査分 —

1. 谷戸ノ田遺跡

2. 八幡神社遺跡

— 令和 3 年(2021 年)度調査分 —

1. 清雲寺遺跡

2. 田戸遺跡

3. 薬王寺遺跡

4. 長浜ノ上遺跡

令和 5 年(2023 年) 3 月 31 日

横須賀市教育委員会

巻頭カラー図版Ⅰ



1. 長浜ノ上遺跡 調査区全景（北側から 前方は相模湾、伊豆大島と伊豆半島の先端部が見える）



2. 長浜ノ上遺跡 調査区全景（東側から 左側が北地区、左側が南地区）

巻頭カラー図版Ⅱ



1. 長浜ノ上遺跡 北地区 18N 5 J グリッド、ローム層深堀（東側から）



2. 長浜ノ上遺跡 南地区 19N 1 h グリッド、ローム層深堀石器出土状況

例 言

1. 本概報集は令和2年度(2020年度)及び令和3年度(2021年度)に横須賀市内で行われた埋蔵文化財に関する発掘調査の概要を収録したものである。また、県教育委員会が行政資料整備のため行った試掘・確認調査及び国・神奈川県事業に起因する発掘調査等については、本報告には掲載していない。なお、本報告でいう発掘調査とは文化財保護法第92条及び第99条等に基づく本発掘調査、行政資料整備のための試掘・確認調査、発掘を伴う詳細分布調査等を含めたものである。
2. 本概報集は調査の概要を掲載したものであり、整理作業途上にあるものも含まれるので、調査主体者の責における本報告の発表により内容が改められることもある。なお、小規模な本格調査で本報告をもって最終報告とする場合は、その旨文末に明記した。また、小規模な試掘確認調査については基本的に本報告をもって最終報告とする。

3. 本報告の執筆・編集は中三川昇・磯口健太郎が担当し、川本真由美・青木微笑・野内秀明の協力を得た。なお、長浜ノ上遺跡のテフラ柱状図については神奈川県災害考古学研究所の上本進二氏より玉稿を賜った。

4. 本文中、下記については統一した。

- (1) 各項目における遺跡名の末尾に()を付して記したのは、『神奈川県埋蔵文化財包蔵地台帳』における横須賀市内の遺跡番号である。
- (2) 遺跡名の下に所在地・調査期間・調査主体者・調査担当者・調査原因を箇条書きでまとめた。
なお、調査面積は発掘面積であり、調査対象面積は()内に記した。調査原因のうち試掘・確認調査については()内に計画されている開発などの種類を記した。
- (3) 図番号は遺跡ごとに設置したが、「第1図 遺跡位置図」は基本的に横須賀市発行の『横須賀市域図』を使用し、真北を上を示した。縮尺は一部を除き2万分の1である。また、合わせて示した「三浦半島全図」の縮尺は約50万分の1である(右図参照)。その他の図については、方位及び縮尺をそれぞれの図中に示した。



5. 整理作業参加者

岩楯英子・倉部裕子

6. 抄録は巻末に一括して掲載した。

7. 教育委員会事務局の埋蔵文化財調査体制

(令和2年度)

教 育 長 新倉 聡

教育総務部長 志村恭一(～6月30日)

佐々木暢行(7月1日～)

生涯学習課長 柳井栄美(～6月31日)

高橋直人(7月1日～)

文化財担当主査 北原一郎

主 任 川本真由美

担 当 磯口健太郎

再任用職員 野内秀明・中三川昇

会計年度任用職員 松井順子

(令和3年度)

教 育 長 新倉 聡

教育総務部長 佐々木暢行

生涯学習課長 高橋直人

文化財担当主査 新倉伸夫

主 任 川本真由美

担 当 磯口健太郎

再任用職員 亀井泰治・野内秀明・中三川昇

会計年度任用職員 松井順子

目 次

巻頭カラー図版

例言

目次

I 令和2年度(2020年度)における埋蔵文化財関連事業等の概要

1. 令和2年度における埋蔵文化財発掘調査と事務概要…………… 1
2. 令和2年度における埋蔵文化財関連通知・届出一覧…………… 1
3. 令和2年度に刊行された本市所在遺跡に係る埋蔵文化財関連図書…………… 3

II 令和2年度(2020年度)における埋蔵文化財発掘調査の概要

1. 谷戸ノ田遺跡 (No.149) …………… 4
2. 八幡神社遺跡 (No.248) …………… 8

III 令和3年度(2021年度)における埋蔵文化財関連事業等の概要

1. 令和3年度における埋蔵文化財発掘調査と事務概要……………12
2. 令和3年度における埋蔵文化財関連通知・届出一覧……………12

IV 令和3年度(2021年度)における埋蔵文化財発掘調査の概要

1. 清雲寺遺跡 (No.348) ……………14
2. 田戸遺跡 (No.36) ……………18
3. 薬王寺遺跡 (No.85) ……………22
4. 長浜ノ上遺跡 (No.471) ……………27

抄 録……………43

I 令和 2（2020）年度における埋蔵文化財関連事業等の概要

1. 令和 2 年度における埋蔵文化財発掘調査と事務概要

平成 31 年度の文化財保護法第 92 条第 1 項に基づき行われた発掘調査は 0 件、文化財保護法第 99 条第 1 項に基づき横須賀市教育委員会が実施した発掘調査は 6 件で、いずれも確認調査である。このほか、国史跡「東京湾要塞跡 猿島砲台跡・千代ヶ崎砲台跡」の史跡整備等のための確認調査を行っている。

なお、文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく土木工事等の届出は 43 件、同法第 94 条に基づく土木工事の通知は 7 件、同法第 96 条第 1 項に基づく届け出及び同法第 97 条第 1 項に基づく通知等は 0 件である。

2. 令和 2 年度における埋蔵文化財関連通知・届出一覧

（1）文化財保護法第 92 条に基づく発掘調査の届出：0 件

（2）文化財保護法第 93 条に基づく土木工事の届出：58 件

	届出日	所在地	遺跡名	保護措置	届出者	工事の目的	開発面積
1	R2.4.8	鴨居 1	中台貝塚 (336)	工事立会	個人	個人住宅	74.49 m ²
2	R2.4.28	衣笠町	衣笠城跡(89)	工事立会	個人	個人住宅	1316.1 m ²
3	R2.5.20	久里浜 2	八幡神社遺跡(248)	工事立会	個人	個人住宅	338.81 m ²
4	R2.5.27	津久井 1	大町谷東遺跡(133)	工事立会	個人	個人住宅	85.88 m ²
5	R2.5.29	芦名	唐池遺跡(227)	工事立会	東電 PG(株)	電気工事	2.91 m ²
6	R2.5.29	長浦町 3	台ノ田遺跡(270)	工事立会	東電 PG(株)	電気工事	0.36 m ²
7	R2.5.29	西浦賀 5	浦賀奉行所及び与力・同心町跡(356)	慎重工事	東電 PG(株)	電気工事	0.97 m ²
8	R5.6.1	久村	島畑遺跡(243)	工事立会	東ガス神奈川導管	ガス工事	1.58 m ²
9	R2.6.18	三春町	浄蓮寺西遺跡(450)	工事立会	東ガス神奈川導管	ガス工事	78.30 m ²
10	R2.6.26	津久井 1	大町谷東遺跡(133)	工事立会	東電 PG(株)	電気工事	1.11 m ²
11	R2.7.3	長沢 2	長岡東遺跡(146)	工事立会	アイプランニング	宅地造成	986.63 m ²
12	R2.7.21	野比 2	松葉遺跡(148)	工事立会	東ガス神奈川導管	ガス工事	40.05 m ²
13	R2.7.10	津久井 2	川尻遺跡(270)	工事立会	湘南不動産販売	宅地造成	107.37 m ²
14	R2.7.22	三春町 2	春日神社西遺跡(451)	工事立会	ハウスフィット	個人住宅	111.73 m ²
15	R2.7.27	長井 6	北条の上遺跡(182)	工事立会	個人	個人住宅	291.94 m ²
16	R2.7.31	佐原	風早遺跡(354)	工事立会	東電 PG(株)	電気工事	0.90 m ²
17	R2.8.7	佐島	深田遺跡(235)	工事立会	東電 PG(株)	電気工事	0.61 m ²
18	R2.8.13	長井 5	内原遺跡(60)	工事立会	個人	個人住宅	44.99 m ²
19	R2.8.13	小矢部 1	蛭畑(51)	工事立会	個人	個人住宅	51.75 m ²
20	R2.8.14	佐島 3、ほか	一本松遺跡(228)	工事立会	東電 PG(株)	電気工事	11.41 m ²
21	R2.8.14	佐島 3	一本松遺跡(228)	工事立会	東電 PG(株)	電気工事	127.94 m ²
22	R2.8.17	秋谷 1	前田遺跡(124)	工事立会	個人	個人住宅	62.67 m ²
23	R2.8.27	阿部倉	平作城跡(119)	慎重工事	東電 PG(株)	電気工事	0.97 m ²
24	R2.8.27	長井 5	内原遺跡(60)	工事立会	社会福祉法人横須賀市社会事業協会	がけ地建築物の建築	1705.56 m ²
25	R2.9.3	津久井 1	大町谷東遺跡(133)	工事立会	東ガス神奈川導管	ガス工事	108.00 m ²
26	R2.9.8	久里浜 2	八幡神社遺跡(248)	試掘調査	個人	個人住宅	120.52 m ²
27	R2.1.9	野比 5	谷戸ノ田(149)	試掘調査	久里浜医療センター	新病棟建築	302.95 m ²
28	R2.8.17	秋谷 1	前田遺跡(124)	工事立会	個人	個人住宅	62.67 m ²
29	R2.8.18	馬堀 4	中馬堀遺跡(141)	工事立会	個人	個人住宅	62.67 m ²
30	R2.9.18	深田台	深田遺跡(275)	工事立会	東電 PG(株)	電気工事	1.40 m ²

31	R2.9.25	秋谷	海老田遺跡(429)	工事立会	個人	宅地造成	341.33 m ²
32	R2.10.8	走水 2	南町遺跡(300)	工事立会	東電PG(株)	電気工事	1.40 m ²
33	R2.10.8	長井 6	北条の上遺跡(182)	慎重工事	東電PG(株)	電気工事	0.25 m ²
34	R2.10.8	佐原 3	佐原城跡(91)	慎重工事	東電PG(株)	電気工事	1.62 m ²
35	R2.10.7	佐原 1	風早遺跡(354)	工事立会	個人	個人住宅	224.11 m ²
36	R2.10.8	大津町 3	大津陣屋跡(114)	工事立会	東ガス神奈川導管	ガス管工事	24.27 m ²
37	R2.10.9	鴨居 1	中台貝塚(336)	工事立会	個人	個人住宅	100.58 m ²
38	R2.10.8	大津町 3	大津陣屋跡(114)	工事立会	東ガス神奈川導管	ガス管工事	24.27 m ²
39	R 2.10.15	野比 5	谷戸ノ田遺跡(149)	工事立会	東ガス神奈川導管	ガス管工事	114.4 m ²
40	R2.11.6	長井 5	内原遺跡(60)	工事立会	個人	個人住宅	85 m ²
41	R2.11.9	大津 3	大津陣屋跡(114)	工事立会	かつ七興産(株)	個人住宅	158.35 m ²
42	R 2.11.12	須軽谷	中ノ原遺跡(168)	工事立会	KDDI株	アンテナ基地局 設備	6.88 m ²
43	R 2.11.17	三春町	浄蓮寺東遺跡(452)	工事立会	個人	個人住宅	166.67 m ²
44	R 2.11.19	長沢 2	長岡東遺跡(146)	工事立会	東ガス神奈川導管	ガス管工事	20.7 m ²
45	R 2.12.17	西浦賀 5	浦賀奉行所及び与力・ 同心町跡(356)	工事立会	浦賀観光協会	看板撤去	0.5 m ²
46	R 2.12.17	秋谷 1	乗越遺跡(70)	慎重工事	東電PG(株)	電気工事	0.61 m ²
47	R 2.12.17	衣笠町	衣笠城跡(89)	工事立会	東電PG(株)	電気工事	1.26 m ²
48	R 2.12.17	長井 5	内原遺跡(60)	工事立会	東電PG(株)	電気工事	0.61 m ²
49	R 2.12.23	長井 6	住吉神社裏遺跡(180)	工事立会	楽天モバイル(株)	アンテナ建柱	2.25 m ²
50	R3.1.4	佐島 3	萩ノ台A遺跡(221)	工事立会	東電PG(株)	電気工事	1.4 m ²
51	R3.1.14	馬堀町 4	中馬堀遺跡(141)	工事立会	丸五産業(株)	個人住宅	106.54 m ²
52	R3.1.18	馬堀町 4	中馬堀遺跡(141)	工事立会	丸五産業(株)	個人住宅	102.85 m ²
53	R3.1.18	馬堀町 4	中馬堀遺跡(141)	工事立会	丸五産業(株)	個人住宅	121.86 m ²
54	R3.1.21	久里浜 2	八幡神社遺跡(248)	工事立会	東ガス神奈川導管	ガス管工事	20.63 m ²
55	R3.2.19	野比 2	松葉遺跡(148)	工事立会	楽天モバイル(株)	アンテナ建柱	0.63 m ²
56	R3.2.26	走水 2	走水遺跡(305)	工事立会	東電PG(株)	電気工事	0.97 m ²
57	R3.3.9	津久井 4	町谷原遺跡(128)	工事立会	東電PG(株)	電気工事	1.40 m ²
58	R3.3.18	馬堀町 4	中馬堀遺跡(141)	工事立会	丸五産業(株)	個人住宅	115.68 m ²

(3) 文化財保護法第 94 条に基づく土木工事の通知 : 12 件

	通知日	所在地	遺跡名	保護措置	通知者	土木工事の目的	開発面積
1	R2.5.29	吉井 1	怒田城跡	発掘調査	県土木事務所長	急傾斜工事	273 m ²
2	R2.6.10	深田台	深田貝塚	工事立会	横須賀市長	公園造成	2873 m ²
3	R2.7.1	神明町 1	蓼原遺跡	慎重工事	横須賀市長	ボーリング調査	25,259.61 m ²
4	R2.6.24	秋谷 1	乗越遺跡	工事立会	横須賀市長	道路工事	262.6 m ²
5	R2.7.13	津久井 2	川尻遺跡	工事立会	横須賀市長	擁壁修繕	4 m ²
6	R2.12.1	走水 1	問答ヶ原遺跡(465)	試掘調査	南関東防衛局長	学校校舎建設	7780 m ²
7	R2.12.18	西浦賀 5	浦賀奉行所及び与力・同 心町跡(356)	工事立会	横須賀市長	看板設置	1.9 m ²
8	R2.12.23	公郷町 3	宗元寺跡(49)	慎重工事	神奈川県知事	仮設校舎設置	55.761 m ²

9	R3.1.12	衣笠町	衣笠城跡(89)	工事立会	横須賀市長	崖保護工事	0.15 m ²
10	R3.1.13	夏島町2	なたぎり遺跡(6)	工事立会	横浜国道事務所 長	水路工事	400 m ²
11	R3.1.13	夏島町2	なたぎり遺跡(6)	工事立会	横浜国道事務所 長	道路工事	330 m ²
12	R3.1.20	長井4	長井高原遺跡(468)	工事立会	南関東防衛局長	警衛所新設工事	24.27 m ²

(4) 文化財保護法第96条に基づく遺跡発見の届出：0件

(5) 文化財保護法第97条に基づく遺跡発見の通知：0件

(6) 文化財保護法第99条に基づき地方公共団体が実施する発掘調査（試掘・確認調査、本市分のみ）：2件

	所在地	遺跡名	調査原因	工事主体者	調査期間/面積	調査結果/保護措置
1	野比5	谷戸ノ田遺跡(149)	新病棟建設	久里浜医療センター	2.9.3/4m ²	遺構・遺物なし/工事立会
2	久里浜2	八幡神社遺跡(248)	個人住宅	個人	2.10.7/4m ²	遺構なし・遺物あり/工事立会

(7) 文化財保護法第99条に基づき地方公共団体が実施する本発掘調査：0件

3. 令和2年度に刊行された本市所在遺跡に係る埋蔵文化財関連図書

令和3年（2021）年

3月31日 『埋蔵文化財発掘調査概報集XXVII』横須賀市文化財調査報告書第58集 横須賀市教育委員会

Ⅱ．令和2年度(2020年度)における埋蔵文化財発掘調査の概要

1．谷戸ノ田遺跡 (No.149)

所在地 横須賀市野比5-3-1

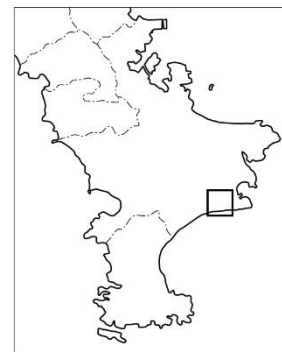
調査機関 横須賀市教育委員会

調査担当 磯口健太郎・中三川 昇

調査原因 病院建設

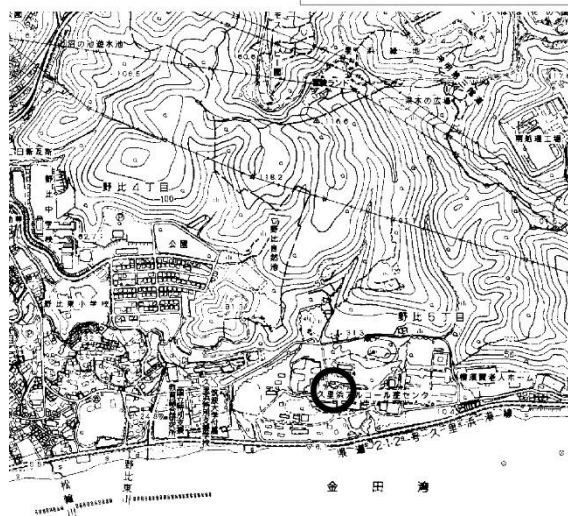
調査期間 2020年9月3日

調査面積 2.93 m²



(1) 遺跡の概要

谷戸ノ田遺跡は東京湾外湾の金田湾岸北部、標高約22mの砂丘上に立地する弥生時代後期から古代の遺物散布地である(第1図)。遺跡範囲の大半が独立行政法人国立病院機構久浜医療センター(旧「アルコール症センター」、元「国立療養所久里浜病院」)の敷地内で、これまで2地点での確認調査を実施し、複数個所で調査工事立会い調査等を行っているが、病院施設の度重なる増改築工事の影響か、現在までところ埋蔵文化財に該当する遺構・遺物は確認されていない(第2図)。



第1図 遺跡位置図

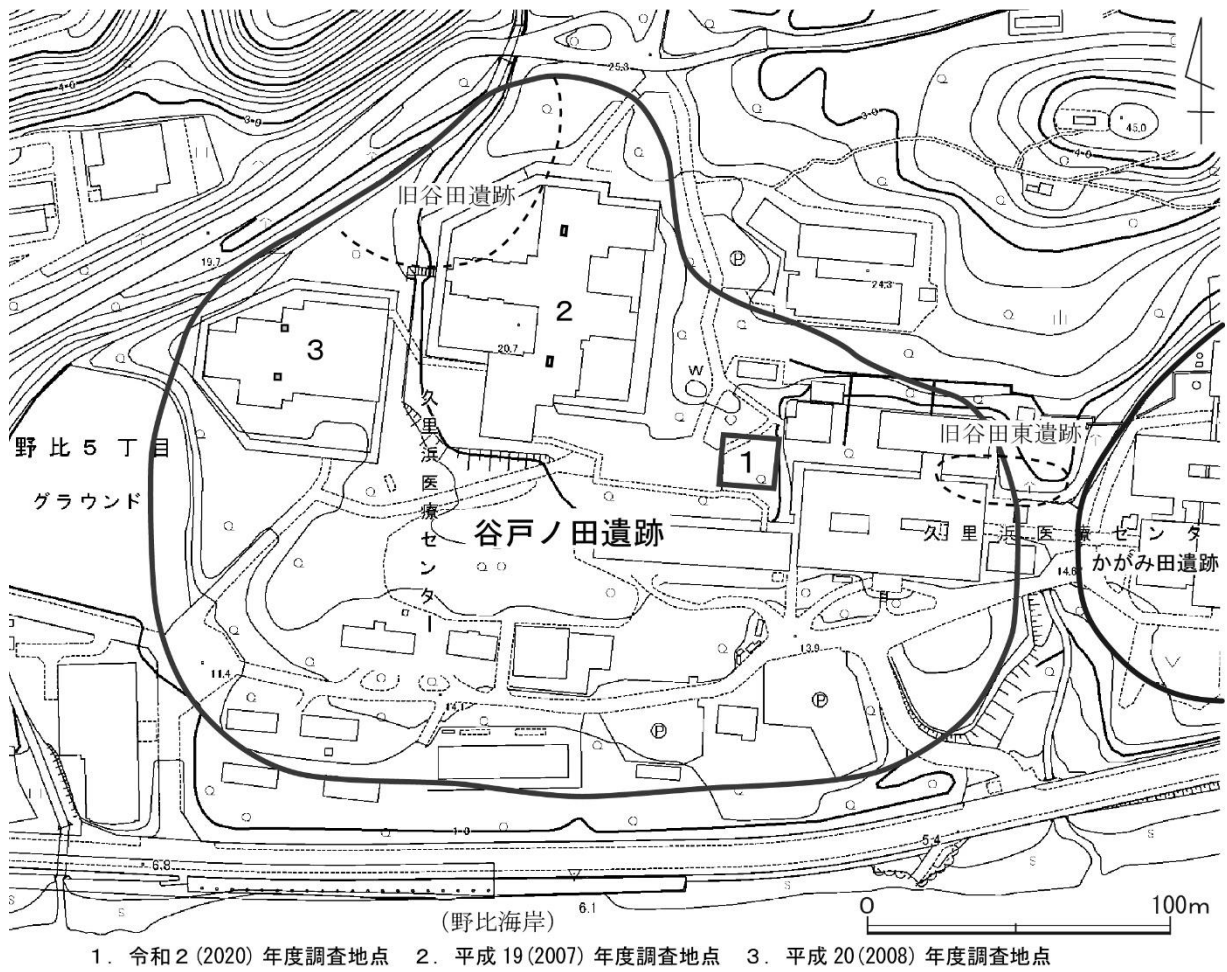
谷戸ノ田遺跡は弥生後期から古墳時代前期の遺物散布地である旧「谷田遺跡」と弥生時代後期と古代の遺物散布地である旧「谷田東遺跡」を統合・範囲拡大した埋蔵文化財包蔵地であるが、今回の調査地点は旧「谷田東遺跡」に近い位置で、比較的旧地形を残している場所である。

(2) 調査の方法と調査結果

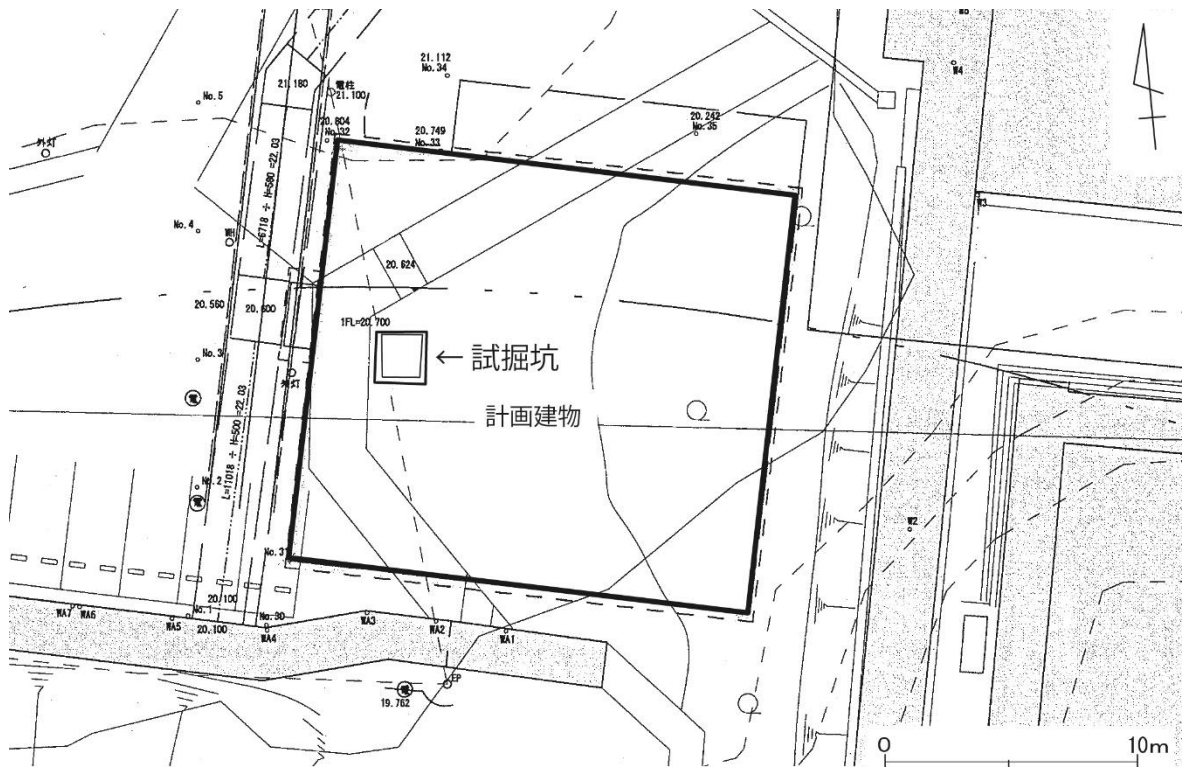
歩道の路面や電気関係の埋設部を避けるため、計画建物内のやや西寄りの位置に2m四方の試掘坑を1か所(試掘坑TP1)を設定して調査を行った(第3図・写真1・3)。

試掘坑は第4層まで掘り下げた(第4図・写真3～4)。第1層は表土層、第2層は灰色砂層、第3層はやや土壌化した明褐色砂層。第4層は古墳時代から奈良・平安時代頃にかけての遺物包含層に相当すると考えられ、第5層は上下層の漸移層、第6層は粘性・しまりのない灰黄色の粗粒砂層である。

試掘坑内からは遺構・遺物は確認されず、遺跡の時期である弥生時代後期から奈良・平安時代の遺構・遺物が遺存している可能性は極めて低いと判断された。なお、調査対象地内の地表面から煉瓦片と複数の陶磁器片が採集された。いずれも近代以降のものであるが、当該地の現況に至る変遷課程の一時期を明示する遺物であることから図示することとした(第4図1～5・第1表・写真5)。第5図1・2・4は口縁部の内外面に濃緑色の二重圈線がめぐる磁器で、太平洋戦争期前後の統制経済下に生産流通しいわゆる「統制陶器」の蓋(1・2)及び碗(4)である。3の皿には内面に横櫛・縦櫛・七宝繫ぎかと思われるスタンプ文がある。二重圈線はないがほぼ同時期と思われる。「統制陶器」は戦時下を象徴する陶磁器類の印象が一般的であるが、1の蓋に記された「国立



第2図 谷戸ノ田遺跡の調査地点 (1/2500)



第3図 試掘坑配置図 (1/300)

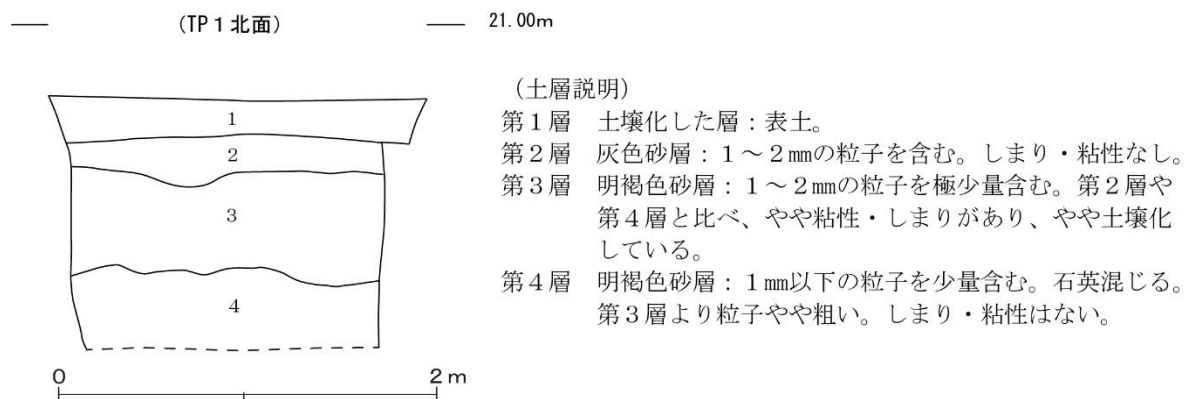
療養所久里浜病院」は、太平洋戦争直前からこの地に設けられた海軍病院施設を前後引き継いだ病院の一時期の名称である。

ちなみに、それらの病院施設の沿革の概要は次のとおりである。昭和 16 年(1941 年) 6 月 1 日に「横須賀海軍病院野比分院」として開院し、翌年には「野比海軍病院」になるが、昭和 20 年(1945 年)12 月 1 日の海軍解体後厚生省に移管され「国立久里浜病院」になり、昭和 22 年(1947 年) 4 月に「国立療養所久里浜病院」に改称されている。その後は 2004 年 4 月 1 日からの「独立行政法人国立病院機構久里浜アルコール所センター」を経て、現在の「独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター」に至っている。このことから、昭和 22 年 4 月以降も統制経済下で生産されたいわゆる「統制陶器」と同様な特徴を持つ磁器の生産・流通が戦後も行われていたことを示しており、昭和 20 年代初期の生産・流通状況等の一端が窺える資料と言えよう。

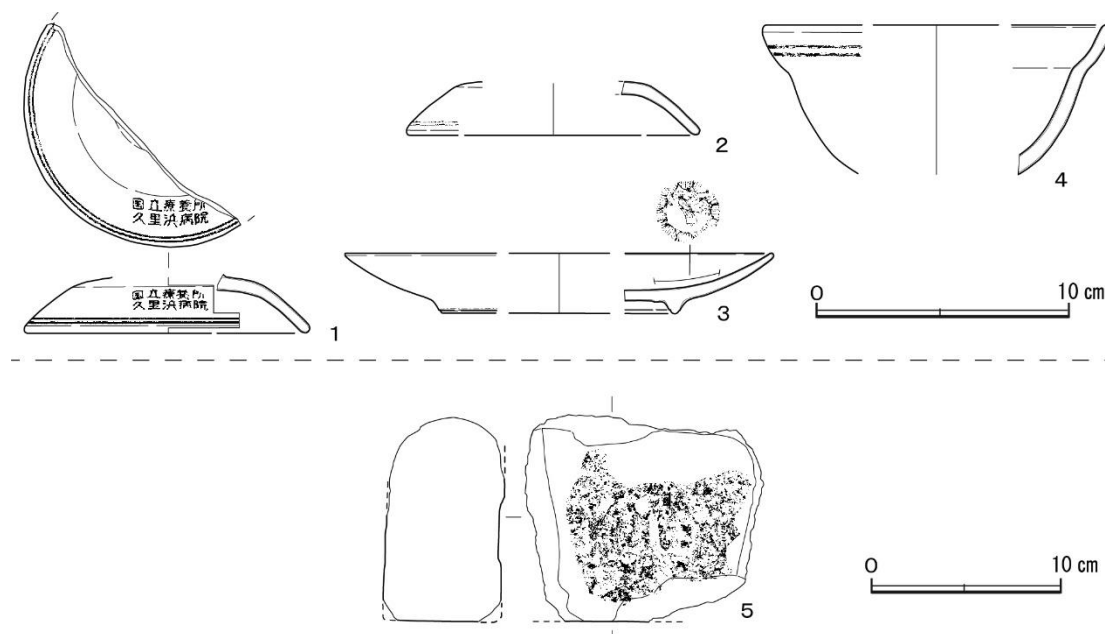
(文献)

中三川 昇 2009 「谷戸ノ田遺跡」『埋蔵文化財発掘調査概報集XVII』横須賀市文化財調査報告書第 46 集

中三川 昇 2011 「谷戸ノ田遺跡」『埋蔵文化財発掘調査概報集XIX』横須賀市文化財調査報告書第 48 集



第 4 図 試掘坑土層断面図 (1/40)



第 5 図 遺物実測図 (1/3・1/4)

第1表 出土遺物観察表

No.	出土位置	種別	法量（単位はcm）、（）は推定値・土色記号
1	表採	磁器碗	口縁部破片 法量：口径(13.4)・器高(5.9) 備考：口縁部下に濃緑色の二重圈線、蓋付き井、統制陶器
2	表採	磁器碗蓋	口縁部破片 法量：口径(11.4)・器高(2.1) 備考：口縁部際に濃緑色の二重圈線 備考：統制陶器
3	表採	磁器碗蓋	口縁部 遺存度：1/2 中央部欠損 法量：口径(11.0)・器高(2.3) 備考：中央に摘みがあったと思われる痕跡あり。備考7：口縁部際に濃緑色の二重圈線と「国立療養所久里浜病院」の文字、統制陶器
4	表採	磁器皿	遺存度：1/8 法量：高台径(16.8)・器高(2.4) 備考：内面に円形のスタンプ
5	表採	レンガ	遺存度：約1/2 法量：長(12.6)・幅(10.9)・厚6.2・重(916.4) 胎土：石英・長石他の粗砂粒多 色調：灰白色(10YR8/2)～胎土にぶい黄橙色(10YR6/3) 備考：耐火レンガ。「YOGYO…」の刻印あり。



写真1 試掘坑TP1 全景



写真2 試掘TP1 土層断面



写真3 試掘坑TP1 全景



写真4 試掘TP1 土層断面

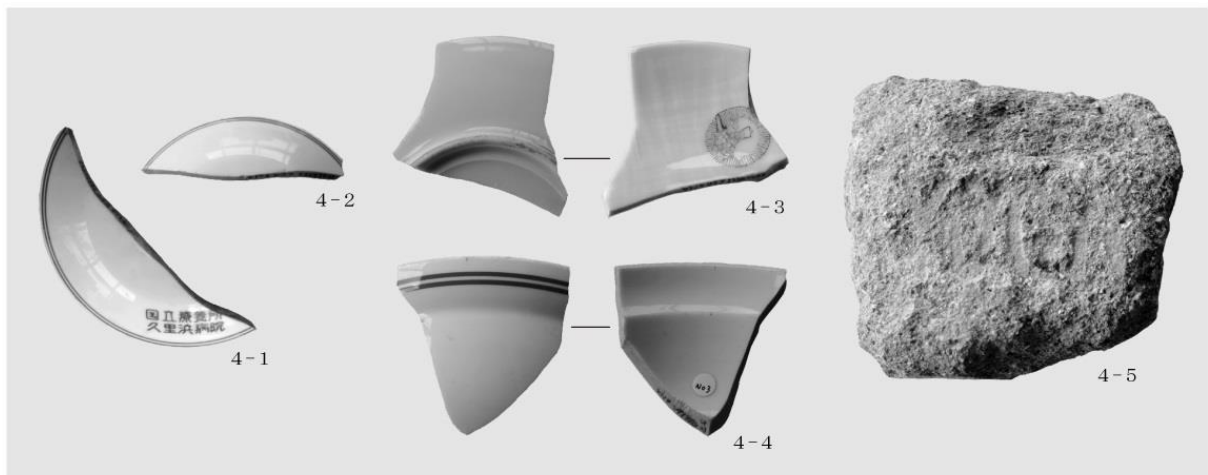


写真5 出土遺物

2. 八幡神社遺跡 (No.248)

所在地 横須賀久里浜2丁目41番2他

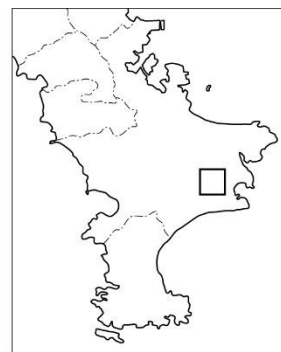
調査期間 令和2年(2020年)10月7日

調査面積 4 m²

調査主体者 横須賀市教育委員会

調査担当者 磯口健太郎・中三川昇

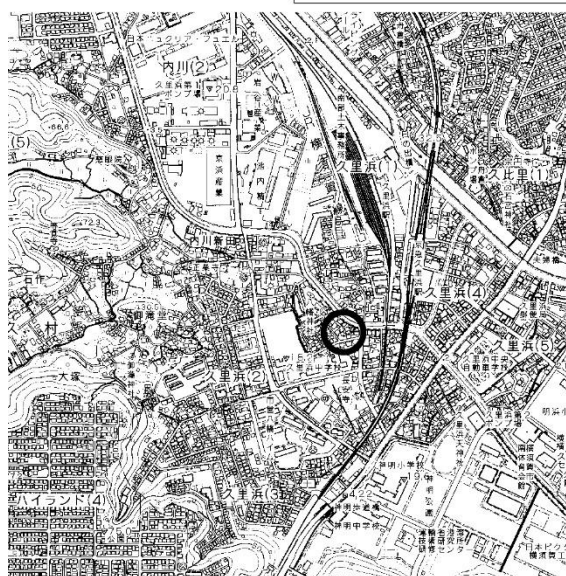
調査原因 個人住宅



(1) 遺跡の概要

八幡神社遺跡は東京湾外湾に面した久里浜港より1.3 kmほど離れた、標高3 m前後の砂堆上に立地する古墳時代～中世にかけての複合遺跡である。これまでに複数地点で発掘調査が行われ、同時期の遺構・遺物が出土している。

今回の確認調査地点の標高は3.6 m弱で、位置的には複数の古墳の存在が確認または想定され埴輪も出土し、平安時代末頃から鎌倉時代を中心とした遺物も出土している八幡神社前地点及び町内会館・社務所地点(稲村 1991・中三川ほか 1996・中三川 2006)と、古墳時代末期の石棺墓を含む埋葬施設や中世の遺構・遺物が出土した久里浜中学校A地点～C地点(稲村 1991・中三川 1999・2015)のほぼ中間地点に位置



第1図 遺跡位置図

しており、同様な遺構・遺物の出土が予想される所であった(第2図)

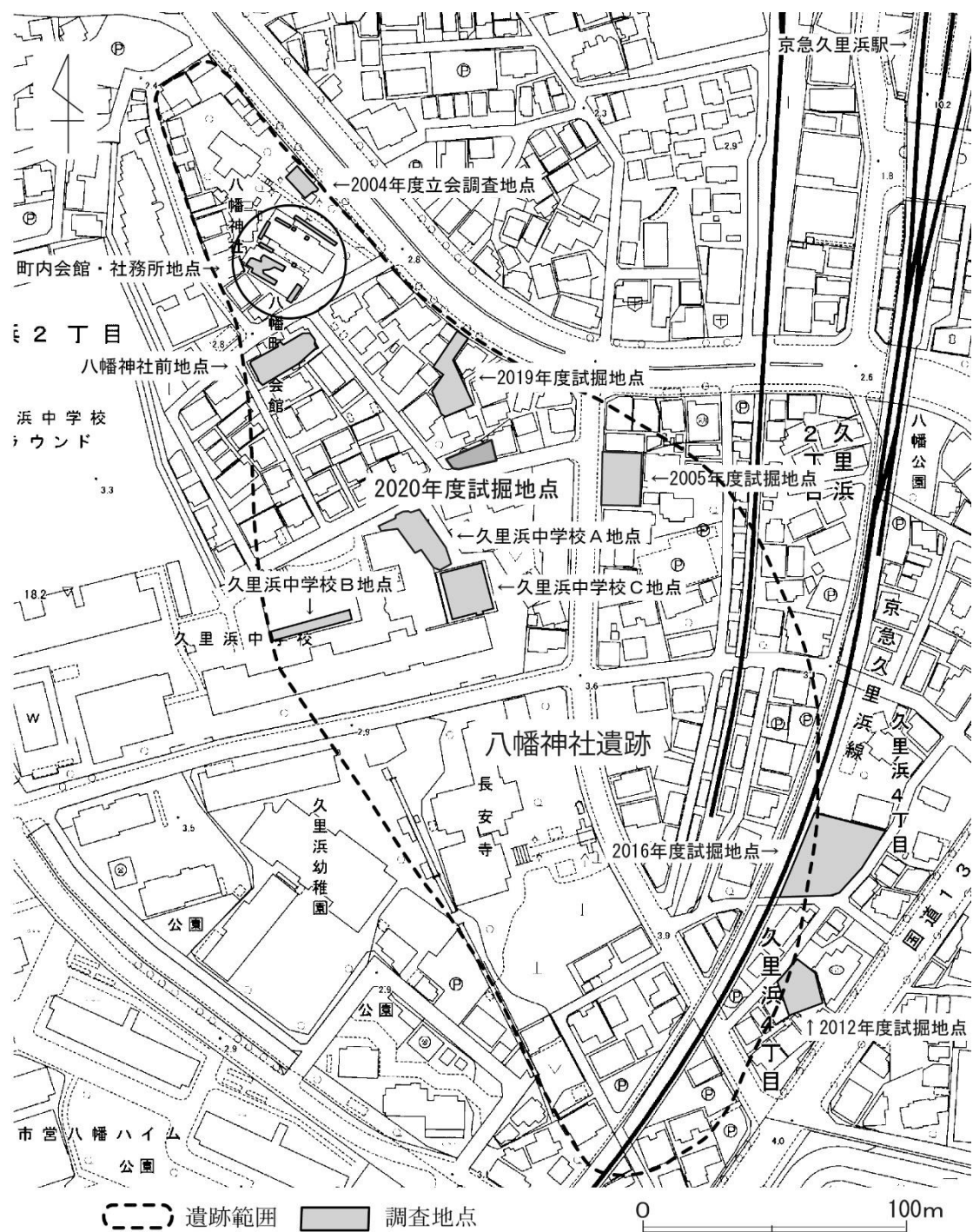
(2) 調査の方法と調査結果

計画建物の位置に2 m四方の試掘坑を1か所(試掘坑 TP1)を設定して調査を行った(第3図・写真1～2)。

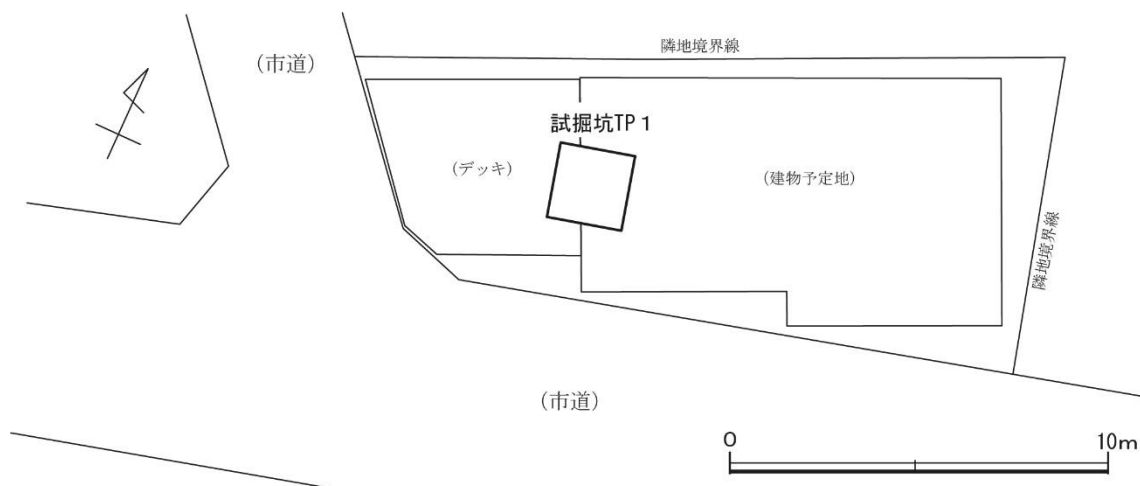
試掘坑は第6層まで掘り下げた(第4図・写真3～4)。0層は直近の整地層、第1層は表土層、第2層は宅地化以前の耕作土層、第3層の黒褐色砂質土層が中世前後の遺物包含層に相当し、第4層は古墳時代から奈良・平安時代頃にかけての遺物包含層に相当すると考えられ、第5層は上下層の漸移層、第6層は灰黄色の粗粒砂層で、本遺跡内では基本的に無遺物層である。

遺構・遺物では、無彩の小型埴形土器の同部片1点(第5図1・第1表1・写真5-1)が出土したものの、他に出土遺物はなく、遺構も確認できなかった。ちなみに、令和4年(2022)年に道路を挟んだ西側隣接地でも試掘調査を行っているが遺構・遺物は確認されなかった。また、この中間の道路部分でのガス管理設工事に伴う工事立会調査でも遺構・遺物は確認されておらず、今回の調査地点とその近辺地域での遺構・遺物の密度は極めて散漫であると考えられる。このようなことから、既述した遺構・遺物の濃密な地域の中間地域である本調査地点一帯が遺構・遺物の希薄な地域、いわば空閑地域であった可能性が考えられる。

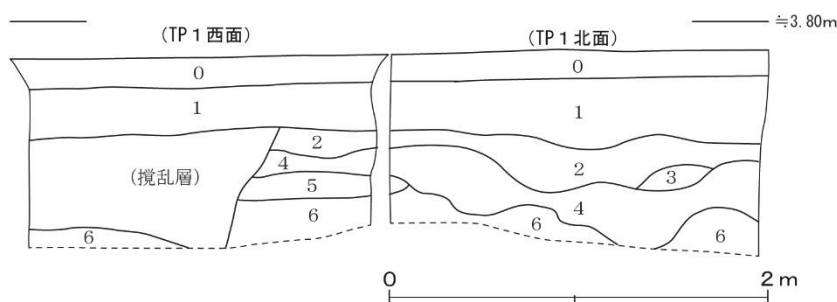
なお、試掘調査時に調査地点周辺の現況確認を行ったが遺跡北部の八幡神社境内で円筒埴輪片1点とかわらけ細片などを採集したので、埴輪片を参考資料として掲載した(第4図2・第1表2・写真5-2)。



第2図 八幡神社遺跡の調査地点〔1/2500〕

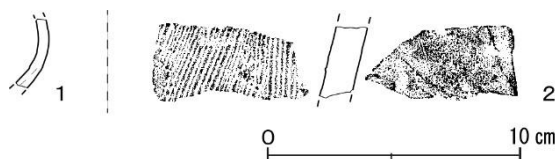


第3図 試掘坑配置図〔1:200〕



- 第1層 暗褐色(7.5YR3/3)砂層：径2～5mm前後の粒子を少量含み、やや粘性・しまりあり。土壌化した砂層。
- 第2層 褐色(7.5YR4/4)砂層：径2～5mm前後の粒子を含み、やや粘性はあるが、しまりはない。
- 第3層 黒褐色(10YR2/2)砂層：径2～5mm前後の粒子と炭化物を含む。やや粘性はあるが、しまりはない。
- 第4層 褐色(7.5YR4/3)砂層：径2～5mm前後の粒子を含み、粘性・しまりなし。
- 第5層 第4層と第6層との漸移層
- 第6層 灰黄(2.5Y7/2)色砂層。粘性・しまりなし。

第4図 試掘坑土層断面図〔1:40〕



第5図 出土・採集遺物実測図

第1表 出土・採集遺物観察表

No.	出土位置	種 別	法量(単位はcm)、()は推定値・土色記号
1	TP 1	土師器 小型埴形土器	胴部片 厚 0.5 外面＝縦方向ヘラミガキ・内面＝横方向ヘラミガキ 焼成：やや良好 胎土：微細な砂粒を含む 色調：外面＝にぶい黄褐色(10YR5/4)・内面＝黒褐色(2.5Y3/2)
2	八幡神社 表採	円筒埴輪	胴部片 厚 1.1～1.4 外面＝縦方向のハケ目(10本/2cm)・内面＝斜め方向ナデ 焼成：良好 胎土：砂粒・細砂粒を含む 色調：器面＝赤褐色(5YR5/6)～にぶい褐色(5YR5/4)



写真1 調査地点全景



写真2 試掘TP1 全景



写真3 試掘坑TP1 西面土層断面



写真4 試掘TP1 北面土層断面



写真5 出土遺物ほか

(文献)

稲村 繁 1991 『八幡神社遺跡Ⅰ』横須賀市文化財調査報告書第21集 横須賀市教育委員会(以下略)

中三川昇・佐藤明生 1996 『八幡神社遺跡Ⅱ』横須賀市文化財調査報告書 第31集

中三川昇 1999 「八幡神社遺跡」『埋蔵文化財発掘調査概報集Ⅶ』横須賀市文化財調査報告書 第33集

中三川昇 2006 「八幡神社遺跡」『埋蔵文化財発掘調査概報集ⅩⅣ』横須賀市文化財調査報告書 第42集

中三川 昇他 2015 『八幡神社遺跡』横須賀市文化財調査報告書 第52集

中三川 昇 2016 「八幡神社遺跡」『埋蔵文化財発掘調査概報集ⅩⅩⅡ』横須賀市文化財調査報告書 第53集

中三川 昇 2018 「八幡神社遺跡」『埋蔵文化財発掘調査概報集ⅩⅩⅣ』横須賀市文化財調査報告書 第55集

野内秀明 2007 「八幡神社遺跡」『埋蔵文化財発掘調査概報集ⅩⅤ』横須賀市文化財調査報告書 第44集

中三川 昇 2021 「八幡神社遺跡」『埋蔵文化財発掘調査概報集ⅩⅩⅥ』横須賀市文化財調査報告書 第58集